

IG再保険プログラム (2024保険年度)

Pool (Overspill) (約57億米ドル)		約88億米ドル	4
Collective Overspill Layer (10億米ドル) Excess of underlying		31億米ドル	
3rd Layer **** (6億米ドル) Excess of underlying		<船客+船員クレーム> 30億米ドル	
		<船客クレーム> 21億米ドル	
2nd Layer **** (7.5億米ドル) Excess of underlying		15億米ドル	3
1st Layer (6.5億米ドル) 75% share with annual aggregate deductible of \$107.1m being covered by Hydra		<油濁クレーム> 2nd Layer **** (2.5億米ドル) Excess of underlying	
		10億米ドル	
*** 10% share	** 10% share	* 5% share	7.5億米ドル
*** 10% share	** 10% share	* 5% share	1億米ドル
7.5% クレーム提起 クラブ保有	Upper Pool (5千万米ドル-1億米ドル covered Hydra)	1億米ドル	2
Lower Pool (3千万米ドル-5千万米ドル covered Hydra)		5千万米ドル	
Lower Pool (1千万米ドル-3千万米ドル)		3千万米ドル	
クラブ保有		1千万米ドル	1
		0	

- 1千万米ドルまで
クラブ保有額と称し、各クラブの自己負担。
- 1千万米ドルから1億米ドルまで
プールと称し、IG加盟クラブが各々の分担率に基づき分担。
なお、プール部分のうち3千万米ドルから1億米ドルまではHydraへ出再。
- 1億米ドルから21億米ドルまで
Lloyd'sを中心とする再保険マーケットで再保険を購入。
(* **および***は、Private Placementと呼ばれる複数年契約定期額再保険)
1st Layerから3rd Layerにかかわり、各Layerごとに参加している再保険責任が異なる。
1st Layer: 1億米ドルから7.5億米ドルまで。
2nd Layer: 7.5億米ドルから15億米ドルまで。
3rd Layer: 15億米ドルから21億米ドルまで。
なお、1st Layerのうち、75%はマーケット再保険者に出再、同再保険カバーには1.071億米ドルの免責金額が設定されている。同免責額まではHydraがカバーする。

*** 悪意のあるサイバー攻撃に起因する損害と新型コロナウイルス感染症/その他の感染症に起因する損害については、それぞれ合計13.5億米ドルの年間累積回収限度額が設定されている。
2nd Layer: 年間累積回収限度額:7.5億米ドル (油濁クレームは1事故あたり最大2.5億米ドル)
3rd Layer: 年間累積回収限度額:6億米ドル
- 21億米ドルから約88億米ドルまで
オーバーシビルと称し、IG全クラブメンバーで分担し、その資金は各クラブがメンバーに請求する分担金(オーバーシビル保険料)により賄う。
なお、オーバーシビルのうち、21億米ドルから31億米ドルの部分についてはマーケットで再保険を購入しており、この部分については同再保険で賄われる。

なお、油濁損害については10億米ドル、船客にかかわる責任は20億米ドル、船客と船員にかかわる責任は30億米ドルの上限が設定されている。